

令和6年度 こども若者★いけんぷらす
「スマート保健相談室」について
アンケート調査結果（いけんのまとめ）

○調査概要

（1）調査テーマ

- 「スマート保健相談室」について

（2）調査対象

- 「高校生年代～大学生年代」のぷらすメンバー

（3）回収状況

- 回答数：66件

（4）調査方法

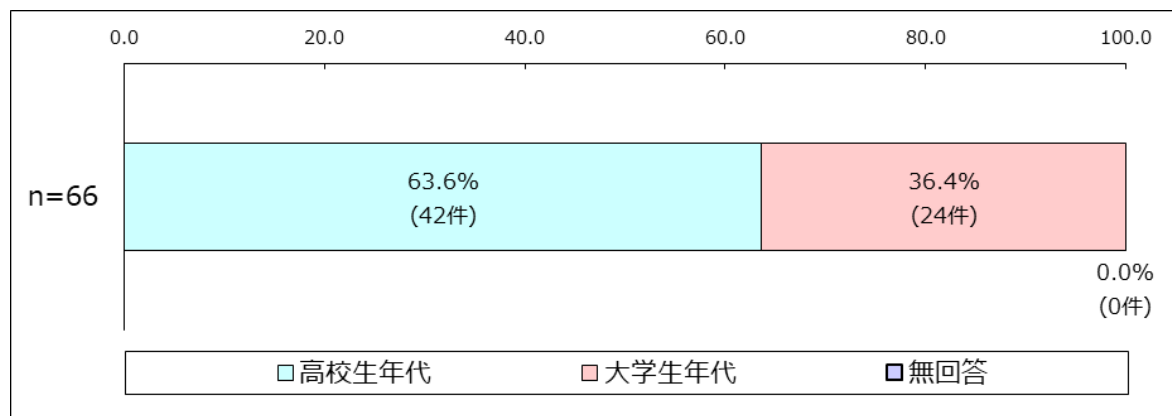
- WEB アンケート調査

（5）調査期間

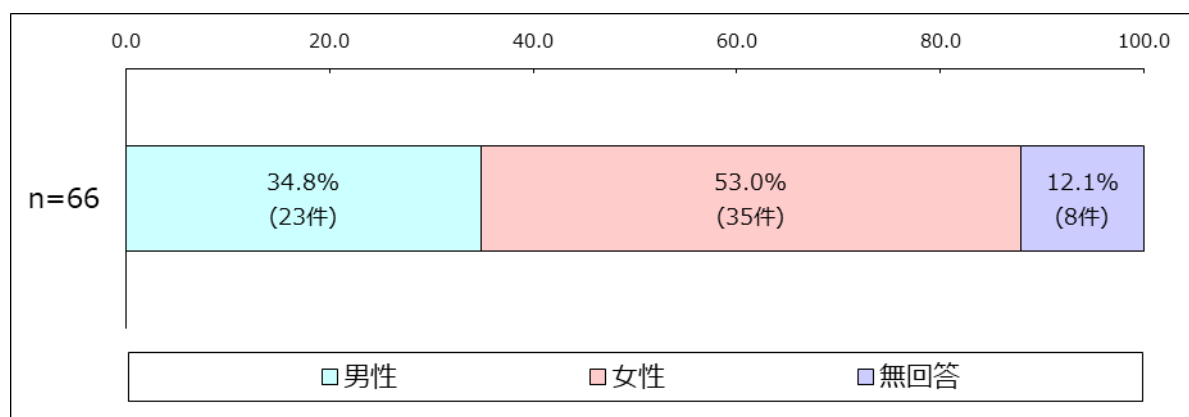
- 令和7年1月17日（金）～2月2日（日）

○調査結果

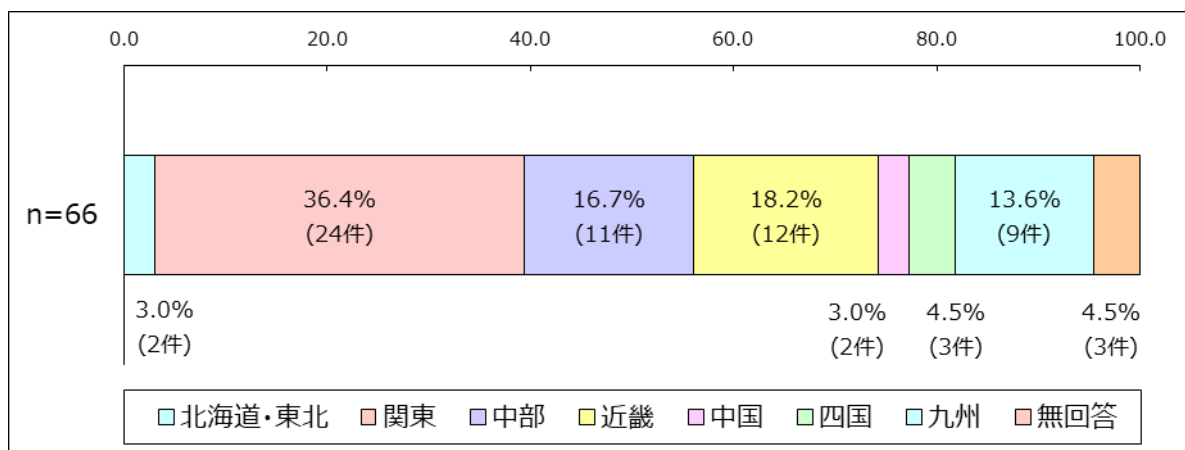
Q1. あなたは次のうちどれに当てはまりますか？（令和7年1月1日時点）（単数回答）



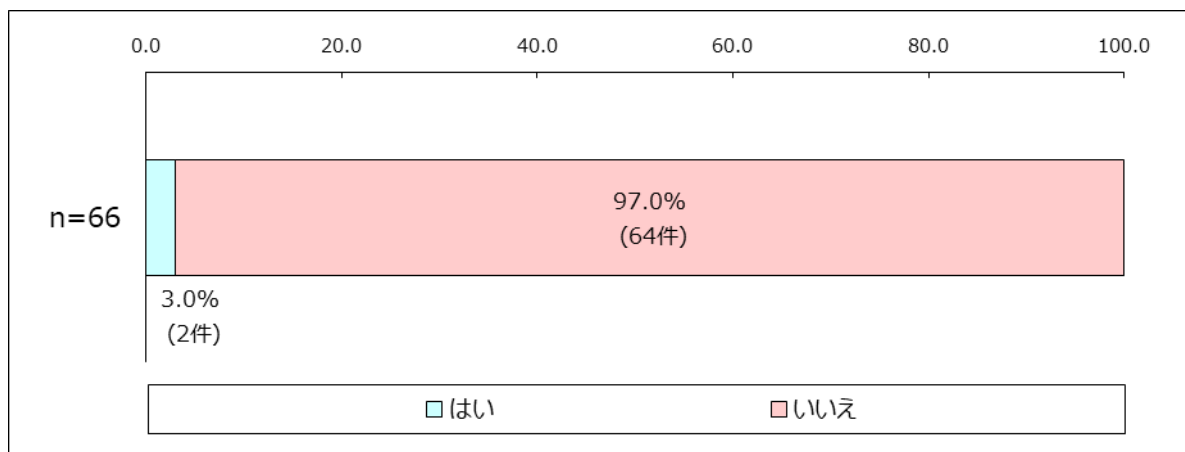
Q2. あなたの性別を教えてください。（単数回答）



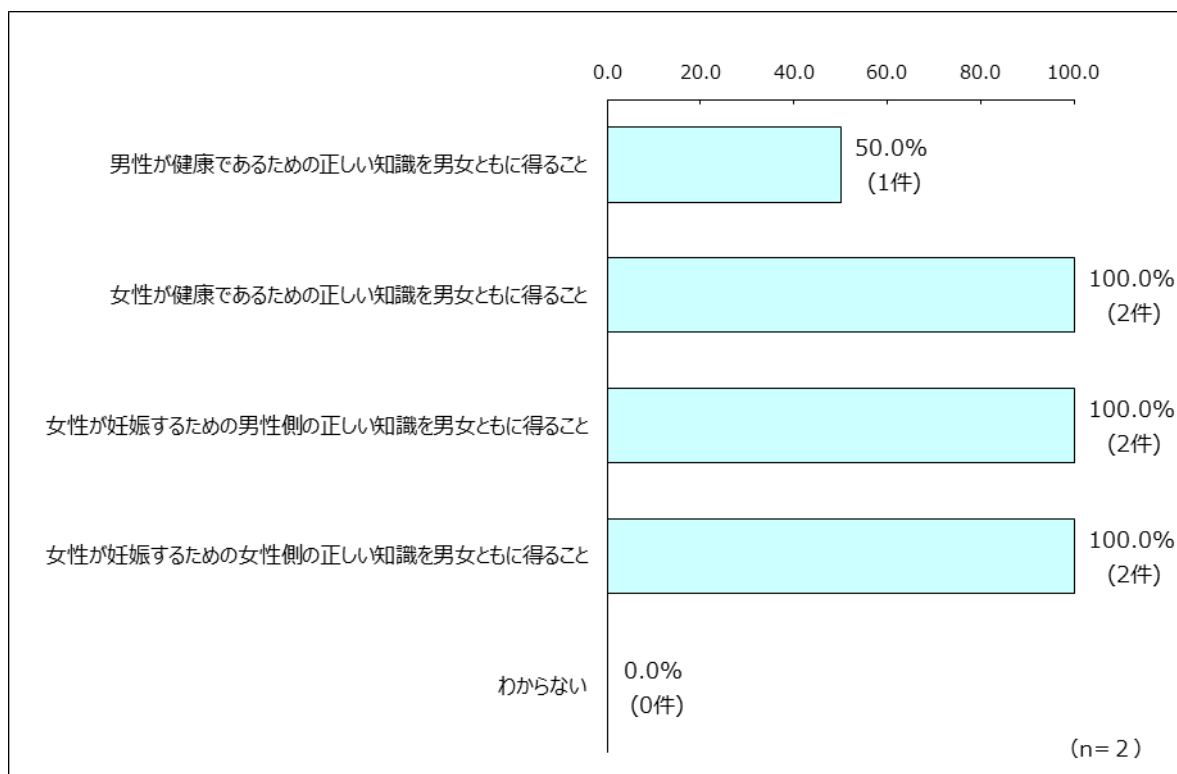
Q3. あなたがお住まいの地域を教えてください。（単数回答）



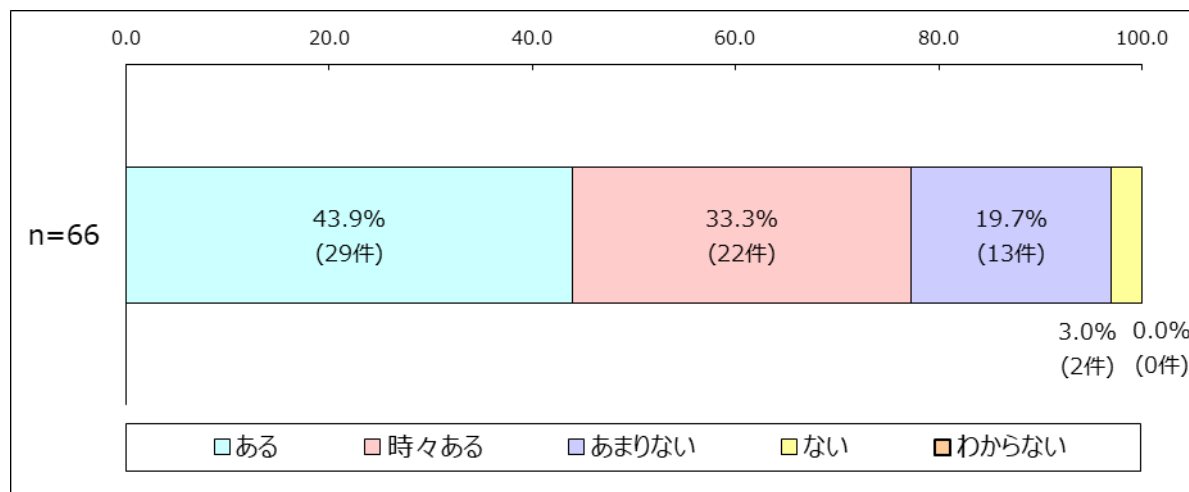
Q4. 「プレコンセプションケア」という言葉を知っていましたか。(単数回答)



Q5. (Q4で「はい」と回答した方のみ) 「プレコンセプションケア」をどのようなものと捉えていますか。(複数回答)



Q6. 普段、からだや性・妊娠などの健康に関する情報を知りたいと思うことはありますか。 例) 生理が重い、性行為について 等 (単数回答)



Q7. からだや性・妊娠などの健康に関する情報について、自分事として「大切だ」「もっと知りたい」と感じた出来事やニュースはありましたか。また、その出来事やニュースを通して考えたことは何ですか。(自由記述・任意回答)

- 若い世代の間で、望まない妊娠をしてしまい、堕胎せざるを得ない状況になってしまったこと。本来、命の誕生はとても喜ばれるべき尊きことなのに、誰からの愛を貰わずにこの世を去ってしまった小さい命にととても胸が痛くなった。
- 高校生の人が妊娠したなどのニュースを聞いた時
- 避妊方法や妊娠に関する情報
- 若年妊娠
- 中高生の人たちの妊娠のニュースをよく聞きます。だから、小さい時から海外の学校と同様にしっかりと性教育について教えるべきだと思います。
- ニュースで、子供の時に中絶を経験した人のインタビューを見たことがある。同年代として、妊娠や中絶は思っていたよりも身近なものだと実感した。
- 年間の中絶者数のグラフを見てどのような経緯から中絶に至ったのか、その原因と解決するための政策について詳しく知りたくなった。
- ホストへの売掛金を返済するために売春をする若者についてのニュース特集を見てこのような若者が自分の体をどのくらい大切に思っているのか売春についてどう思っているのかを知りたくなった
- 14歳で妊娠した人のニュース。避妊の必要性和女性が性行為を断ることについて

- 性的虐待について、インターネット動画で性的虐待について知った。多くは幼稚園や小学校低学年から父親などから性被害に遭い、何年も苦しんでいるようだ。中には 10 歳で実父との子を出産した子もいるらしい。性被害に遭った方の多くは幼いが故にそもそも性行為や妊娠について知らず、何年も被害に遭い気づいたときには手遅れ。日本ではまだ性教育が遅れているのでユネスコ国際セクシャリティ教育ガイダンスに従った包括的性教育が必要だと思った。sns を見ても家庭内性暴力に遭った、遭っている方は本当に多いが口止めされてるなどで誰にも言えなかったり、児童相談所に保護されても児童相談所が加害者の「もうしない」を鵜呑みにして帰宅後また性被害に遭う…というケースもちらほらあるとのこと。未成年の望まない妊娠、赤ちゃん遺棄事件なども多くてその度に性教育の大事さを痛感する。かくいう私自身も律義に 18 歳になってやっとセックスが何か知った位の浅い浅い知識しかなく、もし自分が小学生中学生の時、性被害に遭ったとしたらそもそも何をされてるのか理解できなかったと思う。いろいろ調べたところ乳幼児でも性被害には遭うそうなので本当に小さな頃からの性教育が必要だと痛感した。
- 望まない妊娠であったりなどそういうことで産まれてくる子どもを里親に育ててもらったりなどの政策がされている中で自分はどのような政策があるのかと言った知識や未然に防ぐ方法をあまり知らないように感じました。
- 避妊などについて自分が正しく十分な性教育を受けてこなかったことを実感したとき。
- 女性の生理について、どれくらい辛いものなのか、また妊娠中に男性が配慮しなければならぬ点などが知りたいです。逆に男性の性器に暴行的な刺激が与えられるとどれほど痛いのかということも知ってもらいたいです。
- 生理が重く周期も不安定だったが、母に相談しても「若いから安定しない」と言われ 1 番身近な女性として納得したが、いざ病院を受診すると子宮内膜症になりやすい状態だった。母は生理が軽く、動けなくなるなどしない人だったので女性だからと言って正しい知識を持っている訳ではないと実感した。
- 姉が二人いて、それぞれ生理痛も違いがあったり、長女の出産に立ち会ったことから、女性の強さを知った事。
- 中学の時、性教育が無くそのまま卒業した事
- （出来事）自分が中学 2 年生の頃（2 年前）、ある英語科の先生（日本人）がアメリカにいた時の話を、授業中の雑談にしてくれた。アメリカでは性教育が重視されており、男女混合の場で「細かな事柄」まで性に関する授業が展開されていたそう。内容は、女性器の生物学的な働きであったり性交渉の詳細であったりをスライド付きで解説するというもの。個人的な私の意見として、日本ではこのような授業は皆無で、もとより教える気など毛頭ないと思われる。YouTube のニュース動画（テレビ局など正規のチャンネル）で、日本で「まともな性教育」が存在しない理由のひとつは「教

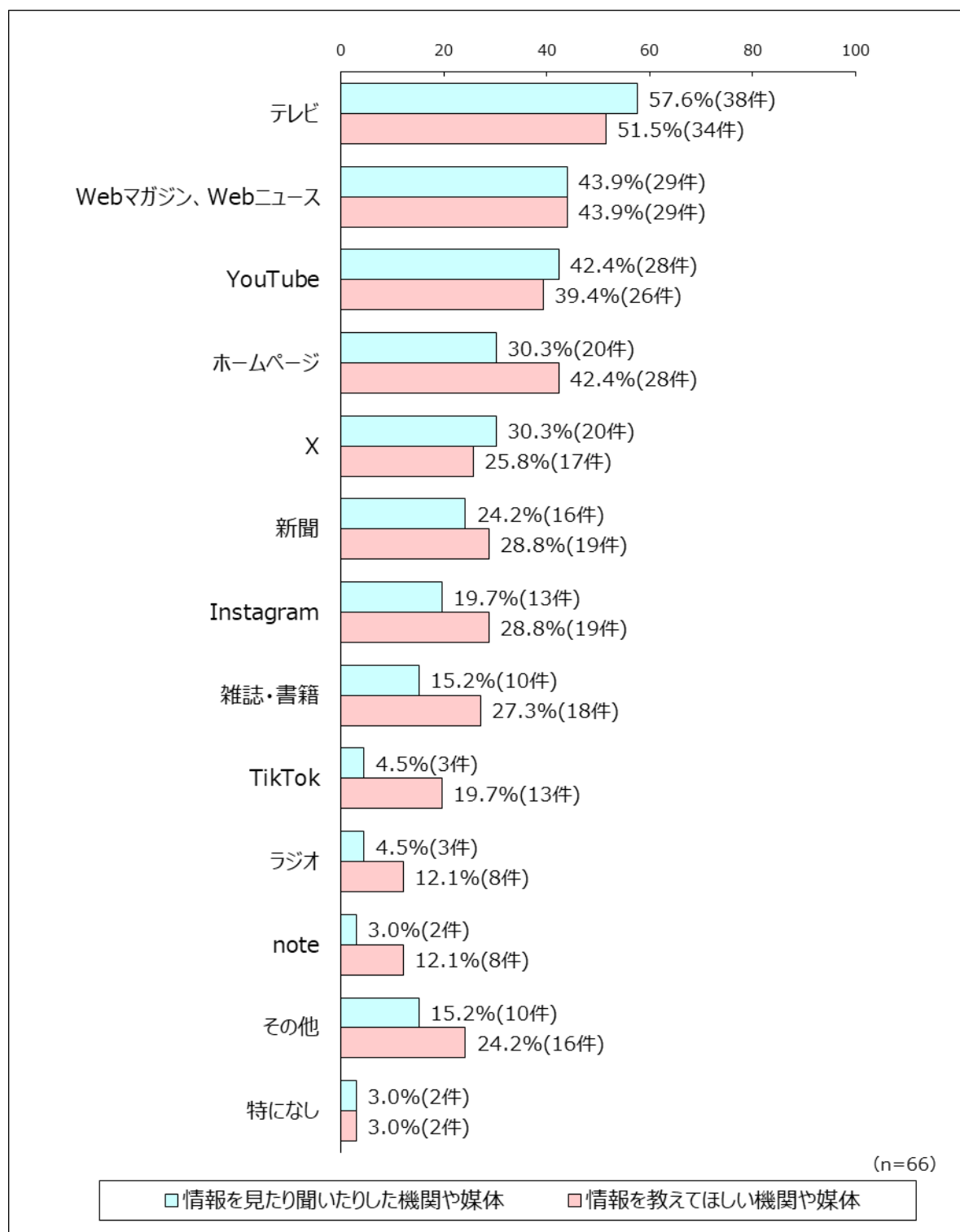
師らの恥じらいがあるから」だそう（他にも理由はあると思う、あくまで一例）。アメリカと日本では思想が違う又は多民族国家であるか否かなどの相違点があるにしろ、同じ人間として学ばなければならないことだと思う。私たち学生が時間をかけて学んでいる「必須科目」なるものが存在するのならば、それは国数英などではなく性教育なのであろう。ふざけている訳では決してなく、私は性に関する一切の事柄こそが学ぶべきものであると強く思っているし、一生役に立つ情報だと確信している。

- （ニュース）日本のとある女子中学生？高校生？が、同級生（若しくは先輩？後輩？とにかく同世代）と性交渉をし、俗に言う「望まぬ妊娠」をした挙げ句、男には逃げられ、まだ成人してもいない段階で出産・若くして女手一つで子供を育てた（現在の状況は知らない）というニュース。これも YouTube のテレビ局？の動画で知った。当該の女性は子供を育てていることに幸せを感じ子供との時間もとても楽しいという現状や、男が責任を捨て逃げたという不快極まりない事実はさておき、尤も日本が「細かい性教育」を行ってさえいれば、若すぎる妊娠は防げただろうし、互いの理解があって相思相愛の下本来あるべき家族像が見れただろう。私もこのニュースの男と同じように 10 代の男子学生だが、日本の性教育皆無の帰結として性に無知であるが故女性が苦しんでしまうという現状を、唯一改善できるのが「丁寧且つ詳細な性教育」なのであろう。
- 性被害のニュースなどを見ていて、もし実際に自分が被害に遭った場合、まずどうすべきなのかは被害に遭わないようにするのと同じくらい大切だと感じた。
- マスターベーション(男子、女子どちらも)
- おりものの対処法(おりものの種類で病気かどうか………のような記事は見つかるけれど、自分のおりものの量が正常なのか、いつから付けてる人が多いのか、下着が濡れてしまった場合どうしたらいいのか(量が異常なのか、シートで対応だけでいいのか……)などが出てこない)
- 月経前症候群
- 不妊
- 性病の危険性や、妊娠の身体的負担を聞いて、不安に思った。
- 世界史でジェンダー史を学んだ時。
- 貧困でナプキンが買えない人がいる
- LGBTQ+
- ジェンダーレストイレ
- 発達障害の当事者なのですが発達障害の性などの保健の本が少なかったこと。教育福祉機関で性の話題をもっとするべきと思った
- 旧優生保護法の違憲判決について

- 芸能人が女性へ性的加害トラブルを起こしたというニュースを目にした時、自分も就職して飲み会などに参加する際そのようなトラブルに巻き込まれないよう、自分の意思はしっかりと持ち、断る勇気を持つことが大切だと思いました。
- 子宮頸がんワクチンの接種が進んでいないこと。また、それがマスメディアによる薬害報道によるものであり、薬害が存在するのか存在しないのか広く周知されていないこと。
- アフターピルの薬局販売について
- 性行為後72時間以内に使えるアフターピルがあるということ。
- コンドームは性感染症予防のためであり、避妊の失敗率は思ったよりも高く、避妊のためにはピルが重要だということ。また、ピルで排卵を止めることは基本的には将来の妊娠に悪影響は及ぼさないこと。
- ピルの使用についてもっと知りたい。

Q8. からだや性・妊娠などの健康に関する情報について、どのような機関や媒体で見たり聞いたりしたことがありますか。(複数回答)

Q10. 実際に、からだや性・妊娠などの健康に関する情報について、どのような機関や媒体で教えてほしいと思いますか。(複数回答)



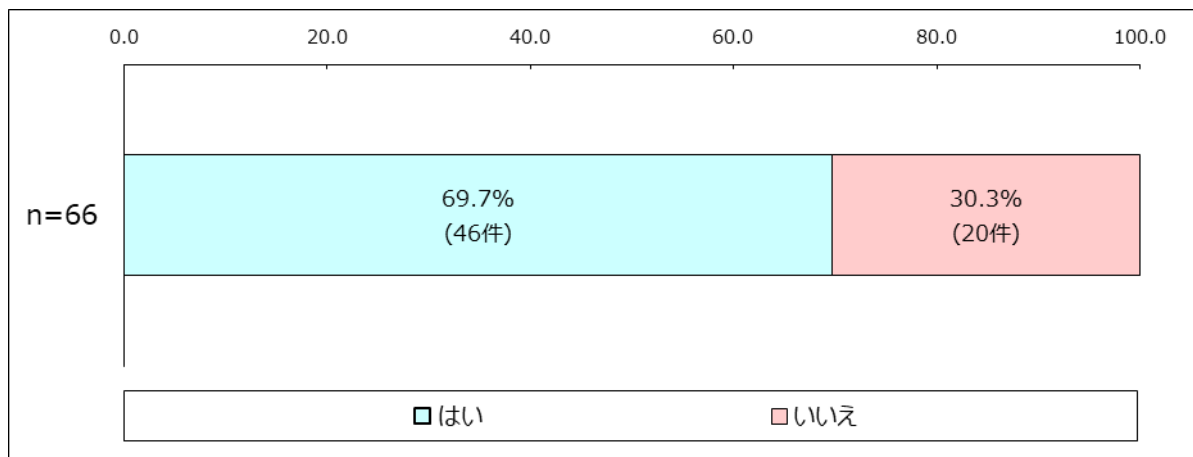
Q9. (Q8で「その他」を選んだ方のみ)「その他」の内容(自由記述・任意回答)

- 教科書(2件)
- 学校の保健の授業
- 学校の講話
- 大学の教授の方
- 産婦人科の先生
- 看護師による講演
- 妊婦さんのヒアリングから直接
- 家族
- 母が看護学校へ通っていた時の教科書を色々と見た事がある。
- 友達
- 児童、若者福祉分野を調べている時

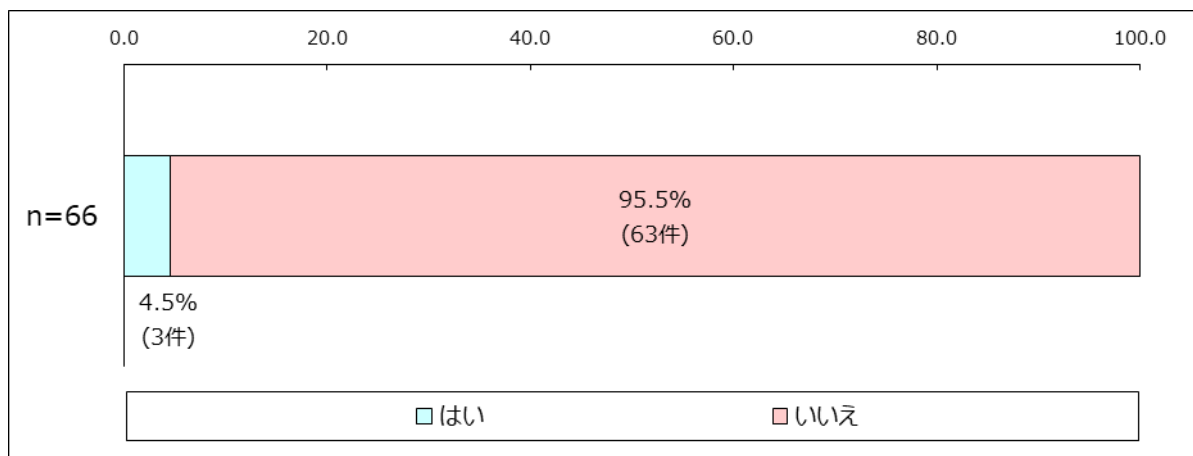
Q11. (Q10で「その他」を選んだ方のみ)「その他」の内容(自由記述・任意回答)

- 学校(5件)
- 所属学校
- 学校の授業(2件)
- 授業
- 学校の教科書
- 教科書
- 教育機関
- 義務教育
- 教育現場
- 学校で配られるようなパンフレット
- ポスターとかリーフレット

Q12. 情報が氾濫していて、からだや性・妊娠などの健康に関する正しい知識をどこで得ることができるのか(そもそもあるのか)がわからない、といったことはありますか。
(単数回答)



Q13. 「スマート保健相談室」というサイトを知っていましたか。(単数回答)



Q14. スマート保健相談室では、様々な「相談窓口」を掲載していますが、今後、どのような「相談窓口」があるとよいですか。（自由記述・任意回答）

- ラインみたいな形式で相談出来る窓口
- sns で 24 時間対応の相談窓口
- 匿名で相談できる窓口や 24 時間対応している窓口
- 匿名で SNS やショートメールで相談できる窓口の数が増えたらいい
- 学校が安全な窓口を提供し、メールや LINE で匿名でも相談が出来る場所。匿名でのグループチャットでみんなの悩みを投稿し、同感したり、意見を聞ける場所。特に同世代の悩みだと自分 1 人と悩まなくなりそうだから。
- 公的機関以外の法人格を有する相談窓口（NPO 法人や一般社団法人など）
- ChatGPT などの人間相手ではない相談窓口（ChatGPT は否定的な言動をとることが少なかったり、非常識的なことを言ったからといって否定されることが少ない、またリアルタイムで回答してくれるから利便性が高い）
- デジタル性暴力専門の相談窓口
- 男性や LGBTQ の相談窓口
- セクシュアルマイノリティや、日本語以外の言語を話す人、障がいを待つ人なども使える窓口
- 性感染症にまつわる予防法や対策、検査法など
- 性感染症の検査を自治体で受けたい時の大まかな流れや生活上の注意、兆候など。
- セクハラに関する相談窓口が欲しい
- 性被害者が安心できるシェルターが近くにあるかどうか。
- 被害者の事後カウンセリングをしてくれるところ
- 生理。痛みや経血の量。体調。
- からだや性・妊娠などによる心の相談
- 心の健康に関する相談窓口（最近是需要が多そう）
- 中絶できない週数になった人への相談窓口
- 「性や妊娠などの悩みについての相談窓口」の「相談方法で探す」の SNS のみに絞ると、都道府県によっては出てこない（例えば東京都では一つもない）となる。しかし、そもそも SNS はどこからでも相談できるのがメリットであるのに、「東京都」で絞ると出てこなくなるのは困ってしまうのではと思った。
- 拝見した限り今のままでも充実はしていると思うが、「人生の先輩に聞く、子どもを持ちたいと思った年齢、また相手にそれを伝えた時期・伝え方」など、体験談的なものがあるといいと思う。
- パートナーへの依存、または共依存についての相談窓口
- 家庭内性暴力に遭ったときの相談窓口（ふりがな対応）
- 子ども向けの相談窓口（ふりがな対応）

- 学校に行きたくない…という悩みの相談窓口
- 不登校で、心に病気を患っている方が相談できる機関
- どこに相談していいかわからないときのための、どこに相談すべきかを相談できる窓口
- 相談窓口というのは、結論からすると都会でしかなくないし、性犯罪も申告で、姉が強制わいせつで中学の時の出来事で、警察官と場所へ出向き再現をする事で PTSD、健忘症などが出ました。まだ、小さかった僕でも覚えています。女性検察官も、ひどい聞き方をしていました。窓口は、その場での話だけなので必要性が本当にあるのか疑問です。

Q15. スマート保健相談室を今後さらに活用してもらうためには、情報を掲載する以外に、どのような方法であれば「相談窓口」を活用しやすかったり、活用したいと思ったりしますか。（自由記述・任意回答）

- 学校で説明する
- 学校で教えてもらえたら、なんだか信用できる。
- 学校でこのようなサイトの存在を教えられたり病院の先生から勧められたら
- 授業で取り上げてもらう。
- 学校からの連絡
- 学校を通して知らせる。
- よくみる、相談できるカードなどを公共のスペースのトイレなどに置いたり、学校で配られるような体制を作ると気軽に連絡してみたいと思います。
- 相談室から直接診療機関などにメールを送れるような窓口があると手軽に相談しやすいと思う。
- 病院や交通機関などで QR コードつきのポスター掲示
- 必要な人に届くように周知すること
- 相談した時に、誰がどのように対応してくれるのかサイトの最新の方に大きく書いた方が良くと思う
- ホームページをあたたかいデザイン（暖色を基調とするなど）にすると、安心できそう。
- どんな相談窓口なのか(主なターゲットはどんな層か、解決するのか、話を聞くのか、など)を詳しく明記する。
- 相談したらどうなるのか実体験をもとにして流れを書いてほしい
- sns で # 性暴力 性被害 性的虐待、などで調べたり投稿したりしたら児童でスマート保健室に繋がるようにする
- 学校で配布されるタブレットにスマート保健室のアプリ、サイトをいれる

- そもそも性暴力が何か子どもでもわかりやすく説明してある
- アバター形式
- google の検索で「妊娠したかも どうする」と調べると、まず出てくるのは厚生労働省やこども家庭庁のページではなく、スポンサーやクリニックのページなどである。普通に考えて、情報がほしい人がまず見るのはそれらの上の方のサイトだと思う。そのような様々なサイトがあるなかで、スマート保健相談室だからこそ提供できている情報がなければ、サイトの有用性は低いとも言えると思う。自分自身は、スマート保健相談室はより正確性の高い情報や、安全な機関に繋がってくれる点でとても大切だと思う。したがって、実際に多くの人にこのサイトを見て欲しいと思うならば、検索の上位（できれば一番上）にくるくらいの工夫をする必要があると思う。
- スマート保健室の利用の最大の障壁はその存在自体を知らないことにあると思うので性に関することや中絶に関して検索した際に1番上に標準時されるようにしたり、SNS のインフルエンサーとコラボを行い、若年層への広報活動を行う
- スマート保険相談室に掲載されている中から、相談機関を選ぶのが面倒くさいので、地域に関わらず何でも相談を寄せられる sns 上の窓口があれば便利だと思う。
- SNS を通して積極的に情報を発信していく。
- ChatGPT などの人間相手ではない相談窓口（先ほどと同じく、人間相手でなければ比較的安心できるのではないか、また、質問に対してリアルタイムで回答してくれるなど、人間との対話よりメリットは大きい気がする）また、URL を送って「このサイト正しい？」みたいにしたら「☒ はい、正しいです。なぜなら、....」みたいに出してくれる感じの AI があったら有意義なのではと思った。
- これに限った話では無いが、利用者(になる者)の信頼が必要
- 見るだけにとどまると思います。いかに SOS を身近な人が気付けるか。だと思う。
- ゲーム感覚（近年ニュースになることが多い「避妊」に関するクイズなど、未成年がどれだけ性行為に対する正しい知識を持ち自制をかけられるのかを試せるコンテンツを用意すると面白いかもしれない。）
- 手紙などでのやりとりもできるようにもするべき。（加害者が電子機器をチェックしていたら被害者の身に危険が及ぶ恐れがあるから）
- 様々な団体と協力して街頭広報活動を行う。

Q16. スマート保健相談室では、「正しい知識 Q&A」を掲載していますが、現在掲載されている Q&A も含め、からだや性・妊娠などの健康に関する情報について、知りたい知識や疑問があれば具体的に教えてください。（自由記述・任意回答）

- 性病や性器に関する病気全般の掲載。また、これらの治療にかかる費用など。
- 生理について
- 「月経の悩み」という題名だけでなく、そこに「月経にあわせて出る心の不調」も含まれていることを明記してほしい。
- 生理のところで、婦人科に相談しようと思いました。知りたい情報ではない。結局、婦人科なんだと思ってしまう。スマート保健相談室の意味がない。
- 周りでは中学生で av を見始めた人が多かったので av とリアルの違い、実際にしたら何の罪に問われるのかなど
- 成人向けコンテンツがなぜ未成年の時は触れないほうが良いのかの説明(法で決まっているコトなど、ネットで詐欺に遭う事例に説明の時ぐらいしか成人向けコンテンツのことが出てこないから)
- 避妊方法や初めての性行為で気をつけること、性行為の正しい知識
- コンドームの正しい使い方マニュアル
- 性交渉や自慰などの年齢別経験率
- マスターベーション(男子、女子ともに)
- 1人で自慰行為するときの正しい方法
- 性欲の強弱について
- 性行為に関するアフターケアについて（女性の妊娠を知ったときに逃げて連絡が取れなくなる男性がいるのも問題なのでその点に関して）
- 妊娠後の男性側がすべきサポート（親に聞く或いはネットに転がっているようなありきたりな事柄でもいいが、産婦人科などの医療関係者のアドバイスを直接聞きたいのが一番。）
- 性教育 WEB メディア「セイシル」のような、踏み込みにくいような性的であるが、同時に、重要な情報ははっきりを提供するような感じの内容
- 同じ性別の友達同士で性について話す時、小さい兄妹と話す時にどうすれば良いか
- 恋愛関係に関する記載
- LGBTQ+はどここの病院に行けばいいのか、LGBTQ+の全般、改名したいとか手続きとか何歳から1人で治療ができるとか
- LGBTQ+について、今は多様性の時代と言われさまざまな人がいます。性の違和感また違和感を持つ人の周りの人への正しい情報や安心できるものもあればいいのではと思う。
- 今、LGBT に関して悩んでる人も多いのではないかと思います。

- 今は多くの人を知って理解できていると思いますが、これからの世代へ繋げていくためにも LGBT とは何かという知識を掲載することで、より理解する人が多くなり生きやすくなると思いました。
- 特になし

Q17. からだや性・妊娠などの健康に関する情報について、どのような周知や広報があると、より興味・関心がもてますか。 例) ポスター掲示、カード配布、SNS 等でのブッシュ型配信、CM の作成 等 (自由記述・任意回答)

- 学校。
- 学校での授業
- 学校の授業
- 学校での教育
- 授業で教えてもらう。
- 学校でのパンフレット配布
- 学校でのチラシ配布
- 学校での案内やチラシ配布等。10 代の自分の立場からしてみても、SNS の広告は正直すぐにスクロールして飛ばしがちなもので、あまり見ないかも…。若者に人気の芸人などとコラボした動画配信などのほうが興味を引きやすいと思います。
- 学校や会社でのお便りなどで配布。
- 教科書・関連書籍の後ろのページなどに、安心して相談できる電話番号やホームページを載せるとよい
- 教科書に載せて欲しい
- よく保健室付近に貼ってある健康ニュースみたいなポスターを作る
- 保健室のポスターに貼る
- 大学などのポスターはよくみるので、学校機関にポスターがあればより興味を持ちやすくなるかなと思う。
- ミニカードの配布
- 性について恥ずかしい、嫌だと思う人は多くいると思う。そのため、可愛らしく目に入れやすいデザインのカードやチラシだと興味を持てるのではと思う。
- SNS での動画投稿
- sns での動画
- SNS での広告配信
- SNS の広告。
- sns での短い広告
- SNS でネットサーフィンなどをしていて出てくる形式。

- インフルエンサーor 有名人で性被害に遭った方が広告塔
- インフルエンサーによる広報動画
- Instagram や YouTube の広告
- Instagram のストーリーや、投稿に載せると、普段使用している身からして、より興味が持てるのかなと思います。投稿する際にはハッシュタグをつける（#保健相談室 #性 #健康）ことで、オスমেに出る頻度が高くなり多くの人に見られると思います。
- TikTok
- YouTube
- 動画配信サービスでの CM
- cm
- CM の作成
- CM。まず、大人が知る事から始めるべきだと思う。
- CM は有効に感じれるが、内容によっては嫌悪感を与えるかもしれない
- 全国の学校にメール配信？をして、担任・保健体育科教師などの先生経由で生徒全員に呼びかけをする。
- テレビのゴールデンタイムに CM を放映（AC ジャパンの啓蒙 CM のようなもの？）。
- 朝や夕方ニュースの一コマに。
- 塾。
- 駅。
- バス停。
- 若い世代が集まる場所（例：学祭、祭り）等での広報活動

Q18. その他、スマート保健相談室のサイト内に、どのようなコンテンツがあれば見たいと思いますか。（自由記述・任意回答）

- 緊急避妊のための診療を受けられる産婦人科の医療機関一覧を地図にして近くのどこにあるのかわかりやすいようなものがほしい
- 性行為の指南、又はリスク・注意点など。
- 実際の体験談や本当に使える正しい避妊方法
- 妊娠のサイン
- 異性の体に関する知識を紹介するコンテンツ 例 男性向けの生理に関する情報コンテンツ

- 男性視点から、性器に関してどの年齢でどのかたちが理想なのか（包茎など、よく耳にするが実際のところわからないことだらけ。これを解決してくれる正しい知識が欲しい。）。
- 性やからだ、妊娠などの教育番組や動画（YouTube など） こどもから学生、そして子どもがいる親のための気軽に見れて学習出来る、またどのように性教育をするか困っている親のための動画があるといいと思う。
- 家庭内や学校、習い事の先生から被害にあったときの相談先
- 友だちが性被害に遭ったときどうするべきか
- 児童相談所や警察について
- 性暴力って何？
- 自慰行為、ポルノとの付き合い方に関する記載が全くないのが気になった
- 闇雲にコンテンツを増やすのではなく、公的機関として中立、正確な情報を学術的な根拠を示して届けて欲しい。
- セクシュアルマイノリティや、日本語以外の言語を話す人、障がいを持つ人など、様々な多様性を排除せず、多様性がある前提で、包括的に性の内容をあつかってほしい。性教育はセックスや生殖に限らず、生活の様々な部分と密接に繋がっている。また、性被害は加害者が 100%悪いことを強調してほしい。
- 動画で健康に関する知識を学べるコンテンツ
- 睡眠に関すること。体重や食に関すること。生理周期が分かる、記録できるコンテンツ。運動や食、睡眠なども合わせて記録できるとよい。
- 体全身などの疲れを取るマッサージ方法などのコンテンツを見たいです。
- 学校の教員でもない、本当に伝える事が出来る人を学校に送り込むといい。
- 文章だけでなく、実際に医師などが解説している動画などがあればより効果的だと思います。
- お話 bot
- 恥ずかしいと思って聞くことができないけど、みんな思っているような感じのことを質問できる感じの仕組み
- 実体験の記載
- 実際に利用した人が病気を早期発見できたり、性トラブルが解決した体験談。
- 実際に相談した人の体験談を集めたページがあったらいいと思う。相談したらどんな風に生活が変わるのか、あまり知られていないから。
- 同年代の性に関する関心事や心配事、状況などの統計
- LGBT  について正しい情報を知りたい。
- 海外の性教育についても知りたい。
- 競合するサイトと比べると、全体的にコンテンツ量が少ないように感じれる

Q19. 今後、からだや性・妊娠などの健康に関する情報について困らないようにするには、こども家庭庁でどのような取組が必要だと思いますか。（自由記述・任意回答）

- 学校の授業で性に関しての知識を教えて欲しい
- 実際に知る機会ができるよう、授業での性教育の充実や歯止め規定の見直しなどについても進めていくべきだと思う。
- 歯止め規定の撤廃
- 文部科学省と提携して、指導要領を見直す・保健体育科の教師の授業展開を充実させるなど教育面での取り組みが最優先だと強く思う。現在の日本の教育（私の高校だけなのかも分からないが）だと、性犯罪は増す一途をたどるだろう。知識があれば手を出さないかもしれない加害側は当たり前、被害を受ける側だって防ごうにも知識がない末路は防ぎようがない。大人から性被害を受けている人だっているわけだから、そうなりそうだとでも自分を守れるように、きちんと防ぎ方を会得しておくべき。またこども家庭庁の局長が女性であるならば、若い女性の性的な安全を守るための情報発信（私はやってないが、InstagramなどのSNSが若者の主な情報源だと思うから、そこで投稿するなど）などを積極的にしてほしい。また男性にとっても有益な情報発信（女性が思う性の観点から見た男性の理想像、これはしてほしい・してもいいが、これだけはしてほしくない・しないほうが嬉しいなどのポイント）も強く望む。
- 学校教育でもっと性教育を行う
- 誤った性知識がインターネットには氾濫しているため、多くが教科書や学校で習ったことなどに重きを置いている。そのため、学校での早期からの性教育を推進するよう働きかけることが必要
- 義務教育で詳しく健康に関する情報を教える。授業の一環で教えられるように取り入れてもらう。
- 小学校や中学校での、からだや性・妊娠についてのより詳しい教育
- まずは全ての子どもや思春期の学生にアクセスできる機会として、小学校～高校の学校現場において、性教育をいかに広げていけるかがこども家庭庁の重要な取り組みだと思う。
- こども家庭庁管轄になるのかどうかはわからないが、年齢が低いうちから正しい性の知識を伝える工夫については取り組みが行われてほしいと思う。自分が小学生のときは今ほど多くの情報もなく、性の知識について初めて触れたのが、少女漫画だった。なんとなく大人に聞いてはいけなような気もして、気になったことも聞けなかったので、子どものうちから正しい性の知識を得られる環境はあってほしいと思う。

- 学校で教わらないことについては小冊子を制作するなど（紙媒体でも PDF 形式でも）
- 学校教育との連携が必要。現行の性教育では不十分に感じれる。書籍や Web ページだと、情報を得られる、得ようとするかどうかが基本的にその者の興味や関心、知識に依存してしまう。法や規則、世論が性教育の妨げになっているのであれば、国民に必要性を訴えかけ、規則を変えていく必要がある。社会的な性に関する忌避感、偏見が相談しづらい環境を生み出していると思う。子供だけでなく、大人にも性教育は必要。そもそもピルや IUD、性感染症の検査、治療が学生でも容易かつ安価に使用できるようになれば、そういった疑問や問題の発生を減らせる。結局、周知の観点から性教育は必要になるが。
- 昔の子どもはどうしていたのか知りたい。
- キャラクターなどを作成しそのキャラクターを利用して情報を広める取り組み
- 男女両方が見やすい配色や文言。
- 女性の問題感を薄めた広報。
- からだや性、妊娠などの正しい情報をもとにした漫画があると、手に取りたくなる。
- デジタル性被害についての周知
- みんなにこのスマート保健相談室のサイトがあるということを sns を利用することで、特に若者の目によくとまるのではないかと思います。
- からだや性のことで困ったら、まずはスマート保健室と発想になる程度までは広く周知される必要があるのでさらに広報活動の強化
- こども家庭庁が相談に乗っているということをもっと周知する。
- こども家庭庁のホームページに〇〇（高校生、男性、女性、）にぜひ知ってほしいからだのことをかく。スマート保健室のことなどこのサイトに正しい情報があるのか正しい情報の調べ方をホームページにかく
- 教育関係の分野にはたらきかける
- 教育機関への働きかけや企業、行政庁への講演、ありとあらゆる SNS を用いての広報、啓発活動が必要だと思います。
- ユネスコ国際セクシャリティ教育ガイダンスに従った包括的性教育
- こども家庭庁からのさまざまな情報提供、意識調査を元にした政策
- 掲載などをしても、その子一人一人に向き合う事は、出来ないと思います。スクールカウンセラーでもなく、教員でもない人が、きちんと向き合える人だと思います。
- なぜ、からだや性・妊娠などの健康に関する情報がタブーとされているかの原因の根本を調査する。特に、性・妊娠に関して不真面目な態度をとる教育者を教育から外す。

- すべての人が正しく十分な性の情報等にアクセスできるようにすること。また、政治を担う人や教員、保護者等、大人にも十分に性に関する知識の重要性や、正確で十分な性教育を伝えてほしい。そのときに、セクシュアルマイノリティや、日本語以外の言語を話す人、障がいを持つ人など、様々な多様性を排除せず、多様性がある前提を必ず持ってほしい。

以上